

5月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

5月分の販売電力量の合計は、55億4,200万kWh、対前年比97.7%となり、前年に比べ4月下旬の気温が低かったことによる暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ4月下旬の気温が低かったことによる暖房需要の増加があるものの、契約口数の減少などから、対前年比98.4%と前年実績を下回りました。

○電力

電力は、契約電力の減少などから、対前年比97.4%と前年実績を下回りました。

（表－1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A/B)
電 灯	1,759	1,788	98.4
電 力	3,783	3,883	97.4
合 計	5,542	5,670	97.7

※個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表－2 参照）

5月の発受電電力量の合計は、58億9,400万kWh、対前年比97.5%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率109.6%の豊水となったことから、発電量は前年を3億600万kWh上回る10億1,800万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を7億9,200万kWh下回る35億4,700万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を1,900万kWh下回る6,000万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を2億900万kWh上回る18億3,300万kWhとなりました。

(表－２：発受電電力量)

(単位：百万kWh、%)

区 分			当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 社	水 力	自 流 式	955	646	309	147.8
		貯・揚水式	63	66	-3	94.6
		計	1,018	712	306	142.9
	火 力		3,547	4,339	-792	81.8
	原 子 力		0	0	0	-
	新エネルギー 等		60	79	-19	76.4
	合 計		4,625	5,130	-505	90.2
	他 社 受 電		1,833※	1,624	209※	112.8※
融 通		-549※	-703	154※	78.1※	
揚水用動力		-15	-7	-8	194.8	
発受電合計		5,894※	6,044	-150※	97.5※	
出 水 率		109.6	68.9	40.7	-	

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以上